

## UTOPIA ISLANDのすすめ

工学部共通講座数理科学 船田 哲男

### 1. はじめに

UTOPIA ISLAND ? 「新しいゲームソフトかな?」と思ったのが最初の印象でした。それが電子メールや電子掲示板あるいは会議管理など、多数のコンピュータ利用者間でコンピュータネットワークを利用するソフトの名称であることを知ったのは、平成6年度より工学部の全1年生を対象とした情報処理教育科目「コンピュータ基礎と演習」のテキスト作成で、電子メールの執筆に関係したときです。それ以来 UTOPIA ISLAND につきあい続けてきたため、総合情報処理センター広報委員より何か UTOPIA ISLAND について書いてほしいとの依頼を受けたのが、この文を書くきっかけになりました。

### 2. UTOPIA ISLANDで何ができる?

#### 2. 1 バックグラウンド

金沢大学では平成元年度にイーサネット網が敷設されて以来、BITNET, JUNET, INTERNET と各種のネットワークを通じ、隣室とのメール交換から国際間にわたるメールのやりとりまで広範囲に利用されるようになってきました。現在は、UNIX メールアドレス<sup>\*1</sup>を通して利用している形態が一番多いかと思われます。これは、個々の UNIX マシンあるいはパソコン間でメール交換を行う方式です。いっぽう、UTOPIA ISLAND はサーバクライアント方式で動作するようになっており、サーバマシンと個々の UNIX マシンあるいはパソコンとでメール交換を行い、利用者アドレスなどの個人情報サーバで一元管理されています。

したがって、利用者はセンターに登録しなければなりません。平成6年4月より開講した工学部の「コンピュータ基礎と演習」では、工学部1年生525名全員を登録して実習教育を開始しました。また、センターから全学の教職員にも利用の呼びかけがなされ、平成6年12月末日現在で73名の

---

#### FOOTNOTE

\*1 例えば、[ログイン名]@[ホスト名].t.kanazawa-u.ac.jp

登録申込がありました。UTOPIA ISLAND はワークステーションはもちろん MAC, PC98 シリーズ, DOS/V機など、ほとんどのパソコンで、しかも DOS, Windows どちらの OS の下でも利用できます。しかし、残念ながら現状では実効的な利用がなされていないのではないかと考えられます。

## 2. 2 インストールは難しい？

UTOPIA ISLAND の利用を妨げる第1の理由は、それを使える環境にある利用者が未だ少ないことでしょう。利用者が多くなければ、あまり利用されないのは当然です。現在のところ、手元のパソコンに通信ボードさえ接続されていれば、提供メーカーの好意で UTOPIA ISLAND を試験的にインストールすることができます。しかし、どうも通信ソフト関係のインストールは何かと複雑で、つついとおっくうになりがちです。とはいえ、すでに接続済みのお隣の利用者にまねればできるはずで、まねるだけでいいんです。こんな簡単なことはありません。この点をなんとか通過すれば後はユートピアの世界へ直行です。

## 2. 3 電子メールの利用

「UNIX メールアドレスを通して既に電子メールを利用しているので、いまさら UTOPIA ISLAND をわざわざ利用しなくても」というお考えもあろうかと思えます。両方のメールシステムを利用するとなると面倒だと思われるかもしれませんが、しかし、UTOPIA ISLAND と通常の UNIX メールアドレス間でも相互に通信が可能です。したがって学内の相手にメールを送るには UTOPIA ISLAND の宛先リストを引用して送信すると便利ですし、学外には通常の UNIX メールアドレスを利用すると良いでしょう。逆に、受信するメールは相手が UTOPIA ISLAND で送信している場合はもちろん、UTOPIA ISLAND サーバマシンのログイン名<sup>\*2</sup>で送信してくれれば、UTOPIA ISLAND で送信したメールと全く同じ手順で受信できます。

## 2. 4 改訂版は使い易くなった

これまでの UTOPIA ISLAND を実際に利用してみると、メールを送信する際にあらかじめテキストエディタでメール文書を作成してフロッピーなどで格納しておき、その後 UTOPIA ISLAND を起動して実際に送信を行うという方法しかできませんでした。この点が UTOPIA ISLAND を利用する一つのネックでもあったわけですが、新しく出た UTOPIA ISLAND

---

### FOOTNOTE

\* 2 [受信者ログイン名] @kipcme1.ipc.kanazawa-u.ac.jp

Ver.3.2は、UTOPIA ISLAND内に簡易エディタを組み込んであるため、他のテキストエディタを起動しなくても良くなっています。また、この改訂版では、電子メールでテキスト形式の文書だけでなく、Wordで作成した文書ファイルや、Excelで作成した表データファイルなどもメールに添付して送信することができます。添付ファイルが付いているメールを受信するとアイコン付きで表示されるので、そのアイコンかファイル名をマウスでクリックすれば、自動的にその添付ファイルを開くアプリケーションが起動し、その内容を覗くことができるようになっています。

## 2. 5 その他の機能

また、UTOPIA ISLANDには電子メールの他に、電子掲示板が利用できます。これは利用者全体で共通の掲示板を用意し、誰でもこの掲示板に投稿できるようになっています。ただし、掲示板の場合は、改訂版でも内蔵エディタは使えないので、あらかじめ掲示内容をテキストエディタで作ったフロッピーに格納してからUTOPIA ISLANDを起動します。

さらに、UTOPIA ISLANDには電子メールや電子掲示板以外に、各利用者個人のスケジュール管理や会議管理もできる機能をもっています。本学のUTOPIA ISLANDは現時点でこれらの機能は使えないので説明を省きますが、例えば会議管理機能を利用すれば、利用者が共通に利用する会議室などの予約を自分の端末から行うことができるし、またスケジュール管理を利用すると、各利用者あるいは学部・教室などの予定（もちろん、公開されたもののみ）を不特定多数が参照できるので、ペーパーレス社会に近づくことができるでしょう。

以下に、「簡便さを感じてもらえればUTOPIA ISLANDに親しみが増すのでは」との期待を込めて、パーソナルコンピュータのMS-Windowsの下で、UTOPIA ISLANDでとくに電子メールを利用する方法の概略を説明します。

### 3. UTOPIA ISLANDの電子メール

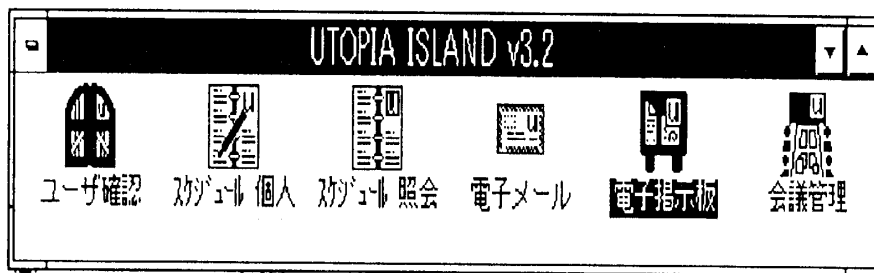
この節では、MS-Windowsのもとでインストールされた UTOPIA ISLAND の電子メール操作法を説明します。

#### 3. 1 ユーザ確認

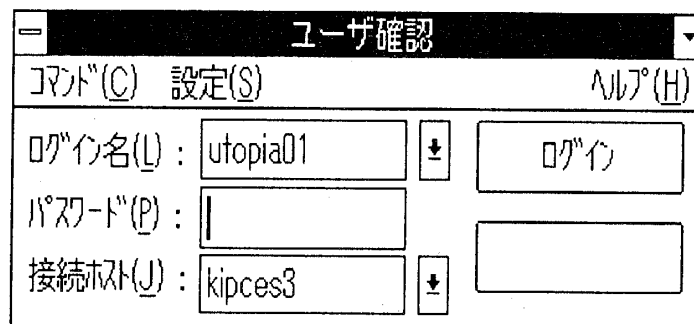
UTOPIA ISLAND の使用にあたっては、まず自分が UTOPIA ISLAND を利用できる資格があるか否かを確認するようになっていきます。資格が無い場合はサーバーの管理者に利用資格を設定してもらわねばなりません。\*3

##### (1) ログイン

まずMS-Windowsのファイルマネージャの下で UTOPIA ISLAND のグループアイコンを選択し、マウスをダブルクリックします。すると、




のようにアプリケーションプログラムを示すアイコンが表示されます。ここで、[ユーザ確認]のアイコンをダブルクリックすると、ユーザ確認のアプリケーションが起動し、次のような[ユーザ確認]のメインウィンドウがオープンします。



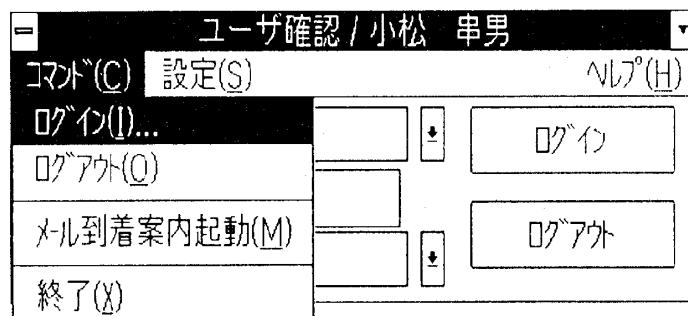
#### FOOTNOTE

\* 3 総合情報処理センターへ UTOPIA ISLAND の利用申請をする。

電子メールや電子掲示板など、他のどのアプリケーションもサーバである UNIX マシーンに入っ  
て利用する（このことをログインするという）ようになっているため、ログインしないでこれらのア  
プリケーションを利用しようとしたとき、自動的に「ユーザ確認」が起動するようになっています。

「ユーザ確認」のメインウィンドウがオープンしている状態で、「ログイン名 (L)」のテキスト  
ボックスにカーソルを移し\*<sup>4</sup>、各自のログイン名をキーインします。次に「パスワード (P)」の  
テキストボックスにカーソルを移しパスワードをキーインします\*<sup>5</sup>。パスワードを入力してもパス  
ワードのテキストボックスには「\*」印が表示されるだけで、他人には見られないようになっていま  
す。「接続ホスト (J)」のテキストボックスに半角英数字でホスト名\*<sup>6</sup>が表示されていることを  
確認して  を押すか、「ログイン」ボックスをクリックすると、利用者として正しく認証されれ  
ば、「Welcome」ダイアログボックスがオープンし、受信したメールの中で未だ読んでないメー  
ルの数や、「管理者からのお知らせ」が表示されます。\*<sup>7</sup>。

ログインするもう一つの方法として、メニューバーの「コマンド (C)」をクリックすると、次の  
ようなサブメニューが表れるので「ログイン (I)」をクリックする方法もあります。




## (2) ログアウトと終了

サーバへのログイン状態を解除するには、「ユーザ確認」メインウィンドウの「ログアウト」ボッ  
クスをクリックし、次に「OK」ボタンをクリックします。すると、「ユーザ確認」のメインウィ  
ンドウが開いて新たに別のログインの受け付けが可能な状態になります。いっぽう、メニューバーの  
「コマンド (C)」をクリックし、次に「終了」、「OK」ボタンを順次選択すると、UTOPIA  
ISLAND の利用を終了してファイルマネージャに戻ります。

---

### FOOTNOTE

- \* 4 オープン直後はいつもログインのテキストボックスにカーソルが移されている。
- \* 5 カーソルはマウスで移すこともできるし、 キーで移すこともできる。
- \* 6 不明のときは総合情報処理センターへ問い合わせる。
- \* 7 ここでは、システムの変更や休業に関する情報などが書かれている。

## 3. 2 電子メール操作法

### 3. 2. 1 メール読み方

#### (1) メインウィンドウ(メール一覧)

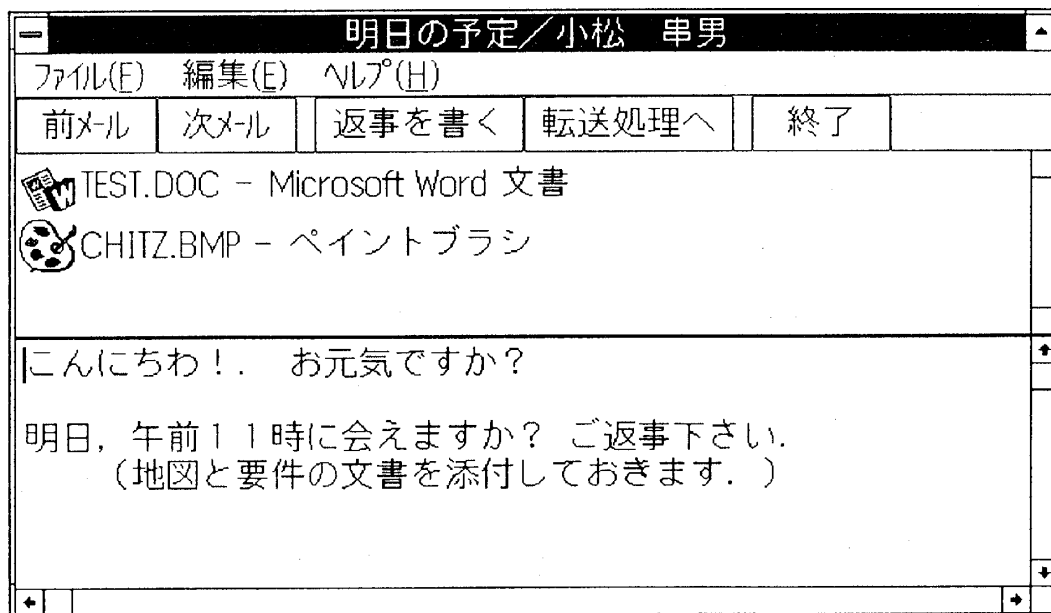
電子メールを利用するにはUTOPIA ISLANDのアプリケーションプログラムのアイコン表示状態(3.1の(1)参照)で、[電子メール]のアイコンをダブルクリックします。すでに[ユーザ確認]でログインしている場合は、[電子メール]のメインウィンドウがすぐにオープンするし、まだログインしていない場合は、まず[ユーザ確認]のメインウィンドウがオープンするので、3.1で述べた操作法にしたがってログインすると、[電子メール]のメインウィンドウがオープンし、次のような[メール一覧]が表示されます。

電子メール				
メール処理(M) その他(Q) 設定(S)			ヘルプ(H)	
メール一覧(L):		総数: 7 通		氏名: 福井 武雄
種別	見出し	送信者名	日付	編集機能名
未	返事	金沢 太郎	94/12/02	テキスト
	<b>明日の予定</b>	<b>小松 串男</b>	<b>94/12/02</b>	<b>テキスト(添付: 2)</b>
	あいさつ	小松 串男	94/12/01	テキスト
	あいさつメール	金沢 太郎	94/11/30	テキスト(添付: 1)
	siken	金沢 太郎	94/11/30	テキスト(添付: 1)
	テスト用	小松 串男	94/11/30	テキスト
	test	福井 武雄	94/11/17	テキスト(添付: 2)

[メール一覧]には、その利用者が過去に受信したメールのうち、日付の新しいものから順に最大225通のリストが表示されます。左端に「未」と表示されているのは、未だ読んでいないメールを意味しています。右端の[編集機能名]欄は、送信されてきたメールがテキストファイルかバイナリファイルかの種別を示しています。また、「(添付: 1)」と表示されているのは、表計算のデータファイル、ワープロの文書ファイル、図形などのデータファイルが1件このメールに添付して送られてきたことを示しています。

## (2) メールの内容を見る

[メール一覧] リストボックスの中の読みたいメールをクリックして反転表示し、メニューバーの [メール処理]、次にサブメニューの [開封] を選択すると、次のようなウィンドウがオープンします\*8。



あるいは、[メール一覧] リストボックスの中の読みたいメールをダブルクリックするだけでも同じウィンドウがオープンします。図のようにメール内容はこのウィンドウの下段に、また上段には添付ファイルの種類が表示され、そのファイルを開くためのアプリケーションのアイコンと名称も表示されます。この図の場合は、1つ目の添付ファイルは Word の文書ファイルであり、2つ目の添付ファイルはペイントブラシのイメージファイルであることを表しています。添付ファイルがないときは上段には何も表示されません。ファイルが表示されている行をダブルクリックすると、これらのファイルを開くためのアプリケーションソフトが起動し、これらの添付ファイルの内容を覗くことができようになっています。

表示を終了するには [終了] ボックスをクリックするか、あるいはメニューバーの [ファイル]、ついで [終了] を選択すると [メール一覧] 表示に戻ります。

---

### FOOTNOTE

- \* 8 [編集機能] が UTOPIA ISLAND の簡易エディタを利用しない設定になっているときはこのウィンドウとは違うこともある。

### (3) メールの付加情報

個々のメールに対し、開封済みか否か、種別、見出し、日付、送信者名とその所属・役職名、編集機能名などの情報が付加されています。これらの付加情報を覗くには、[電子メール]メインウィンドウの[メール一覧]ボックスから目的のメールをクリックして反転表示し、メニューバーの[メール処理]、次に[詳細表示]を選択します。内容を読み終えたら[了解]ボタンを選択すると[メール一覧]の表示に戻ります。

### (4) メールの削除と保存

メールはとくに指定しなければサーバの記憶装置にいつまでも保存されるのでどんどん増えるばかりです。そこで、不要なメールは早めに削除する方が良いでしょう。[電子メール]メインウィンドウの[メール一覧]ボックスから削除したいメールをクリックして反転表示し、メニューバーの[メール処理]、次に[削除]と[OK]を選択すると削除されます。なお、削除したいメールを複数個同時に反転表示して同様の操作を行うと、それらをまとめて削除することもできます。

送られてきたメールの中に、利用者のフロッピーなどローカルな記憶装置にファイルとして保存したいメールがあれば、[メール一覧]ボックスから目的のメールをクリックして反転表示し、メニューバーの[メール処理]、次に[保存]を選択します。すると、次のようなダイアログボックスが開くので、[ディレクトリ(D)]ボックスにフロッピーを挿入したドライブ名を選択し、[ファイル(N)]ボックスにファイル名を適宜指定して[確定]ボタンをクリックします。

ファイル名入力 (テスト)

ファイル名(N) :

パス : d:\utopia32

ディレクトリ(D) : 

- [..]
- [-a-]
- [-b-]
- [-c-]
- [-d-]
- [-e-]
- [-f-]
- [-g-]

保存処理が終了すると、[メール一覧]ボックスが表示されるので、必要なら保存したメールの削除処理も行っておきます。



### 3. 3 メール印刷

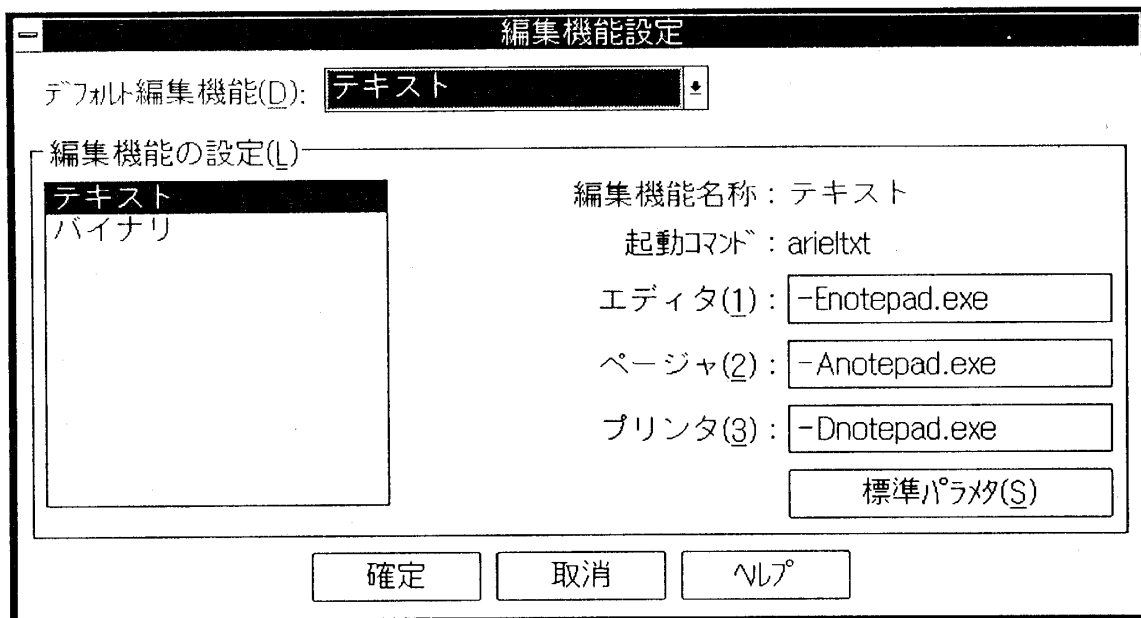
送られてきたメールを3.2の(4)で述べたように、利用者のファイルに保存すれば、テキストファイルを印刷するMS-Windowsの一般的なアプリケーションソフトでメール内容の印刷ができますが、保存処理をしなくても直接プリンタで印刷することもできます。それを行うには、[メール一覧] リストボックスから、目的のメールをクリックして反転表示し、メニューバーの[メール処理]、次に[印刷]を選択すると、メール内容が表示されるので、さらにメニューバーの[ファイル]、次に[印刷]をクリックすると印刷が始まります。印刷が完了すればメールの内容が再表示されます。再度、メニューバーの[ファイル]、次に[メモ帳の終了]をクリックすると[メール一覧]の表示に戻ります。

### 3. 4 メール送り方

ここでは、UTOPIA ISLANDの簡易エディタで文書ファイルを作成し、その場ですぐに送る方法について説明します。

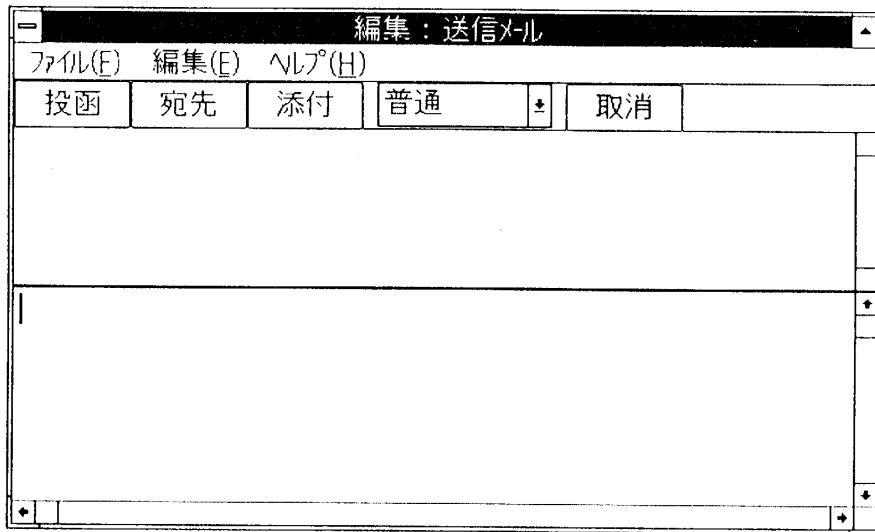
#### (1) メールの送信

簡易エディタを利用するには[編集機能]を「標準パラメータ」に設定しておきます。通常は「標準」に設定してあるはずですが、何らかの理由で変更されている場合はメインウィンドウで[設定]をクリックし、次に[編集機能]をクリックすると次のようなウィンドウが開きます。

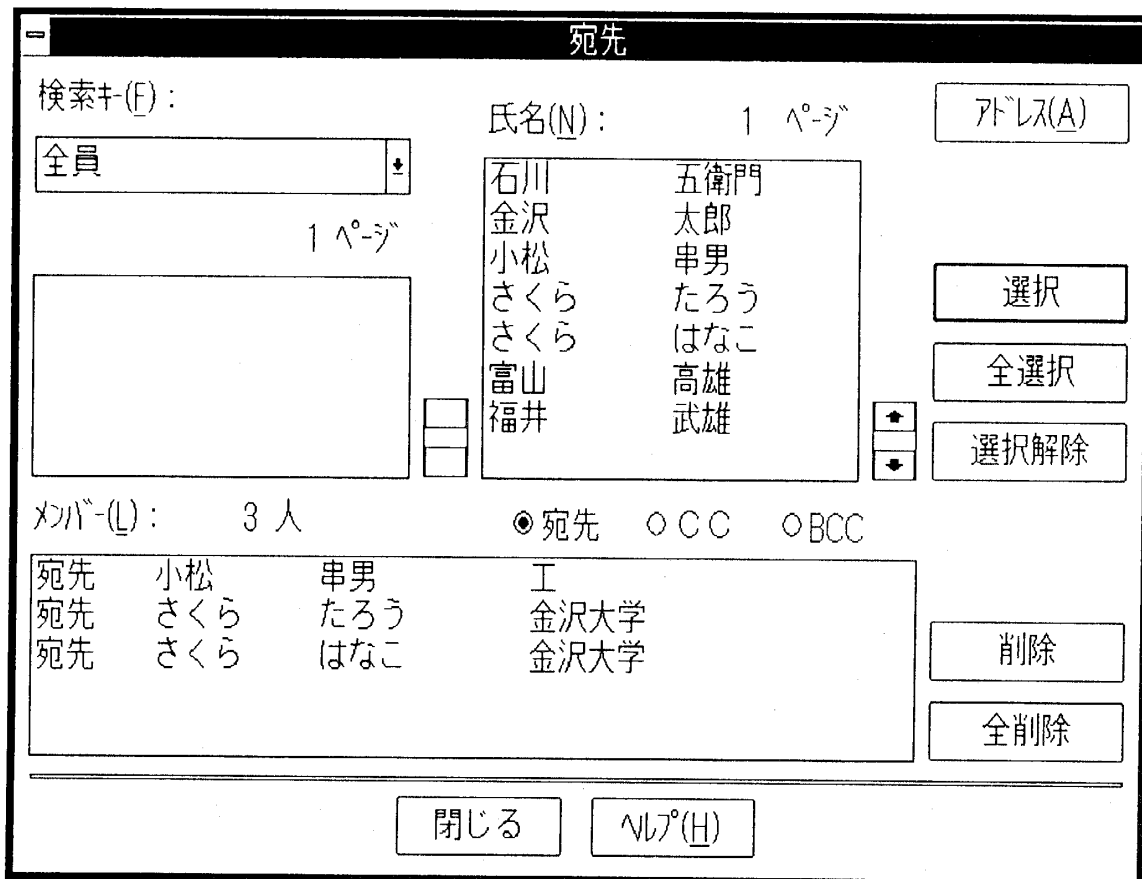


[標準パラメータ (S)] ボックスと [確定] ボックスをクリックすると、[メール一覧] のウィンドウに戻ります。これで、編集機能が標準パラメータに設定されました。再度 [メール処理] をクリ

ックし、次に「新規メールを書く／選択する」をクリックすると、次のようなウィンドウが開き、下段のボックスにカーソルが点滅した状態になります。



ここで、送信したい文書内容をキーインすると下段のボックス内に表示されます。キーインが完了したら「宛先」ボタンをクリックすると、次の画面が開き



[検索キー] と [選択メニュー] のボックス内容を適宜選択すると [氏名] ボックスに送信相手の名前が表示されます。その名前をクリックして反転表示し、[選択] をクリックします。このとき、[メンバー (L)] ボックスに送信相手の名前が載ることを確認しておきます\*<sup>9</sup>。同時に複数の送信相手が指定できるので適宜選択を繰り返して追加します。誤って [メンバー] ボックスに送信相手でない名前を選択した場合は削除することもできます。[閉じる] ボタンをクリックすると [編集] ウィンドウに戻ります。次いで [投函] ボタンをクリックすると「見出し」を入力するダイアログボックスが表示されるので、メールの受取人が識別しやすいように、投函するメールに見出しをキーボードから入力し [実行] ボタンをクリックすると、送信完了のメッセージが表示され、先ほど指定した全ての相手先に文書が送信されます\*<sup>10</sup>、\*<sup>11</sup>。

## (2) 文書以外のファイル添付

UTOPIA ISLAND では自分で作成した文書ファイルにイメージファイル、ワープロの文書ファイルあるいは表計算のデータファイルなどを添付して送ることができます。これを行うには [編集] ウィンドウで [添付] ボタンをクリックすると、添付ファイルを選択するウィンドウが開くので適宜選択することができます。添付ファイルを指定すると、そのファイルを開くためのアプリケーションのアイコンとファイル名が [編集] ウィンドウの上段に表示されます。これらの添付ファイルは文書ファイルと一緒に相手先へ送信されます。

## (3) メール返信

送られてきたメールに対する返信を出すには、そのメール内容の一部を引用すると相手にわかりやすい場合があります。これを行うには [メール一覧] ボックスから、目的のメールをクリックして反転表示し、次にメニューバーの [メール処理]、次いで [返事を書く] を選択します。すると [返信] ウィンドウがオープンし、下段に送られてきたメール内容が表示されるので適宜編集します。[投函] ボタンを選択すると、相手がつけた見出しに「Re」が付加された [見出し] ダイアログボック

---

### FOOTNOTE

\*<sup>9</sup> [アドレス (A)] ボックスをクリックしてUNIXメールアドレスで相手先を指定することもできる。

\*<sup>10</sup> 編集した文書を自分のフロッピイに保存することもできる。

\*<sup>11</sup> UNIX マシンから一般的なメール送信手順で UTOPIA ISLAND の利用者へメールの送信をすることもできる。この場合、送信先の UNIX アドレスは [UTOPIA ISLAND のログイン名] @ [UTOPIA ISLAND のホスト名] .ipc.kanazawa-u.ac.jp. のようにすれば良い。

スがオープンします。とくに変更する必要がなければそのまま [実行] ボタンをクリックすると返信メールが送られます\*12。

#### (4) 送信メールの受信状況

送ったメールを相手方が見てくれたのか、返信を送ってくれたのか気になることも多い。このような場合のため、[電子メール] メインウィンドウのメニューバーで [その他]、次いで [送信履歴] をクリックすると、受信状況を調査することができるようになっています。

### 3. 5 メールを終了

電子メールのアプリケーションプログラムを終了するには、[メール一覧] ウィンドウでメニューバー [メール処理]、次いで [終了する] を選択します。さらに [OK] を選択すると、電子メールを終了し [ユーザ確認] のメインウィンドウに戻ります。

## 4. あとがき

「マルチメディア」という語で象徴されるように、技術の進歩は速く今現在最先端と思われる技術が明日は陳腐化してしまうという今日この頃です。それを利用する者からすれば、「よくわからないので利用しづらい」と感じるのは当然です。「もう少し使い勝手がよくなってから利用しよう」というのももっともです。が、今現在利用できるのであれば積極的に利用するのももっともといえましょう。多くの人が通信ソフトの利用を進め、コンピュータネットワークによる情報通信が実効的になることを期待しております。

## 参 考

- (1) 「UTOPIA ISLAND 基本アプリケーション・ユーザズマニュアル」, さくらケーシーエス
- (2) 「コンピュータ基礎と演習」, 工学部テキスト編集委員会

---

#### FOOTNOTE

\*12 この場合は [宛先] を特に指定しなくても自動的に送信先が指定される。